

グループホーム 万寿の森

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473700449	事業の開始年月日	平成13年3月1日	
		指定年月日	平成18年4月1日	
法人名	社会福祉法人 青葉福祉学院			
事業所名	グループホーム 万寿の森			
所在地	(225-0004)			
	横浜市 青葉区 元石川町 4323-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	36	名
		ユニット数	4	ユニット
自己評価作成日	平成22年2月12日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	(評価機関で記入します。)
----------	---------------

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1人1人を尊重し、豊かな自然環境の中でゆったりと温かな家庭的な生活を支援します。手作り重視の食事を通じて、健康的な生活を支援します。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成22年3月1日	評価機関 評価決定日	平成22年5月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

◆木々に囲まれた5,000㎡程の広大な敷地に、4ユニットそれぞれが独立した建物にあり、うち1棟にはデイサービスを併設している。玄関周りに季節の花や植物が植えられ、敷地内には散歩道があり、利用者だけでなく、地域の方々も散歩を楽しんでいる。
 ◆職員は理念に基づき、豊かな自然環境と家庭的な雰囲気の中で、人としての尊厳を重視し、ゆったりとした生活ができるよう取り組んでいる。
 ◆家族等が来所しやすいように、面会や外出の時間に制限を設けず、来所時にはゆっくり話ができるように配慮している。また、事業所の提案で、意見箱は家族会が管理し、事業所は家族会から内容を聞くこととしている。
 ◆園芸ボランティアの協力で、利用者も苗を買いに行ったり、植え付けや栽培に参加している。家族会主催で収穫祭を行い、利用者、家族、職員で調理をして食べるなどしている。
 ◆地域の季節行事や、老人会の誕生会、旅行などへの参加、幼稚園児や小中学生との交流、地域の方々を事業所の行事に招くなど、地域の方々と交流を図っている。また、習字・囲碁・茶道・エステ・マニキュア・コーラス・楽器演奏・散歩の付き添いなどのボランティアで、地域の方々や家族等が来訪するなど、日々の生活が変化のある楽しいものになるよう取り組んでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

グループホーム 万寿の森

事業所名	
ユニット名	万寿の森 みずき棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	管理者と職員は社内研修にて理念を確認し実践につなげようと努力している。	自然環境と家庭的な楽しい雰囲気の中で、地域と関わりながら過ごせるよう理念に掲げている。研修で理念を確認するとともに、朝礼や会議等で具体的事例を理念に照らして話し合い、接遇を改善するなど、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域自治会への加入、幼稚園・小学校・中学校との交流。民生委員によるボランティア、地域グループ・個人ボランティアの受け入れ、事業所の行事を地域に発信している。	自治会に加入し、祭礼や運動会等の行事に参加している。地域の幼稚園・小中学校との交流や、園芸・習字・楽器演奏などボランティアの来所がある。音楽会やお祭りなど、事業所の行事に近隣の方々を招待している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事を通じて理解を深めていただけるように努めている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設以外の専門家や地域の有識者等の意見を聞き、サービス向上に活かすよう努めている。	2カ月ごとに開催しており、事業所から活動状況を報告し、委員から評価、助言、要望等を受けている。医療連携体制や退居基準の作成などについて、要望、助言を受けて検討中である。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長や管理者が行っている。	利用者への対応や医療連携体制について、市や区に相談し助言を受けたり、市主催の講習会に参加している。また、ホームヘルパー2級受講者の実習を受け入れるなど、協力関係を築けるよう努めている。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	正しく理解するように学び合い取り組んでいる。1人の利用者（ご家族からの要望・カンファレンス実施）	身体拘束・虐待防止のマニュアルがあり、身体拘束をしないケアについて研修や会議等で話し合っている。帰宅願望のある利用者があることと、交通量の多い大通りが近いので、家族と話し合い、玄関は施錠している。利用者の家族からの要望があり、職員間で検討を行い、家族と話し合いのうえ、必要に応じて車椅子での移動時のベルト使用や夜間の2点ベッド柵の設置をしている例がある。	家族の同意書の期限が切れています。家族と事業所全体で直近の情報共有し、緊急やむを得ず身体拘束等を行う場合には、家族の同意書を再交付することが必要です。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	取り組んでいる。常に意識し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会を持ち、それらを活用できるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	その都度管理者が行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を設け、話し合える環境に努めている。	家族会で施設長、管理者と意見交換をしたり、面会時や電話連絡の際などに、意見等を聞くようにしている。また、家族会が管理する意見箱がある。意見等をもとに、手すりの設置や道幅を広げるなどしている。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	普段の仕事の合間や各会議で話し合いの場を設け、皆が話しやすい雰囲気を心掛けている。	年1回全職員を対象に意向調査や個人面談を行い、意見等を聞いて運営に反映させている。職員からの提案を受け、内部研修の実施やユニット間の交流の機会を持つなどしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談の実施や意向アンケートを取って活かすように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修や外部研修の実施、又各会議で話し合い把握に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換現場研修の実施。他施設への訪問や研修の依頼をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	その都度本人の意向を聞き、相談を行っている。又家族の声に耳を傾けて本人の気持を受け止められるように努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の相談事や困っている事を聞き、上司に意見を聞きながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず必要としている支援を見極め、対応出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者一人ひとりと共に暮らす者同士という気持で関係を築くように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	積極的に家族と共に考え、支えあうように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人がこれまで大切にしてきた場所や関係は、家族と相談しながら支援に努めている。	友人や家族とのつながりを大事にし、友人や家族の来所や外出の時間に制限を設けず、来所時にはゆっくり話ができるように配慮している。訪問調査時に、家族の来所があり、利用者と居室でゆっくり話せるよう、職員が昼食とお茶を運んで行く様が見受けられた。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	支えあって暮らしていく様に、孤立しない様に、共に楽しめる支援をする。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者が連絡を取り合っ必要に応じて、相談や支援に努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けを充分にし、傾聴に努める。その上で出来るだけ個々の希望や要望を取り入れ、尊重して行っている。	入居前の面接時に生活歴や思い・意向等を聴くとともに、日頃の利用者との会話から思いや意向を把握している。意思表示が困難な場合は、日々の様子を観察・記録し、会議で話し合い、本人本位のケアができるように検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人の意見を聞き、これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	其々のペースが有り、その日の様子を見ながら無理なく過ごせるように把握に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常の様子を「気づき」に反映させ、会議で話し合い現状に即した介護計画を作成している。	利用者や家族、医師等の意見を取り入れて作成した原案をもとに、職員会議で話し合い、介護計画を作成している。6カ月ごとに見直しをしているが、今後は3カ月ごとに行う予定である。状態に変化のあった場合はその都度見直しを行っている。	職員会議で話し合い、モニタリングをしているが、その記録が個人記録にファイルされてなかったのが入るように入れた方が良い。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	「業務日誌」「ケース記録」「気づき」等の記入。また申し送り等から情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のその時々状況やニーズを良く確認し、実態に合ったサービスが出来る様に努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域ボランティアの受け入れや消防署による訓練等を行い安全で楽しく暮らせる取り組みをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院受診時は止むを得ぬ事情以外は事業所職員が付き添うよう支援。かかりつけ医の受診は家族と職員で協力。	利用者、家族の希望により、入居前のかかりつけ医か協力医療機関で受診してもらっている。受診の際には、家族を通して事業所での利用者の日頃の様子等をかかりつけ医に情報提供し、家族付添いの際は受診結果を伝えてもらい、情報を共有している。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員はいない。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院との連携・関係作りを行い、地域連携会議にも管理者が出席している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会を通じ、又事業所内でも話し合いを段階的に行いながら事業所で出来る事を説明し、方針を共有できるように取り組んでいる。又、地域の関係者と共にチームで支援出来る様に取り組んでいる。	看取りについて、勉強会を開催したり外部研修に参加している。重症化した際、家族と相談し、職員会議で検討して、往診や訪問看護を受けながら支援したことがある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命法や応急手当の訓練を実施しているがまだ全職員にはいたっていない。今後も継続して実践力を身につけられるように取り組んでゆく。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に（年2回）消防署の協力を得て防災・避難訓練（夜間を想定した訓練もあり）を行い意識を高め、身につけられるよう努めている。	消防署の協力を得て、年2回防災訓練と避難訓練を行っている。近隣3地区の消防団による協力もあるが、運営推進会議でも協力依頼をしているところである。水などの備蓄品を備え、災害時には地域の方にも使ってもらいたいと考えている。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの誇りを傷つけないよう、プライバシーを保てるよう努力している。安心できるような言葉かけを行っている。	日々の朝礼や研修を通して、上から目線での物言いや子ども扱いをしない、人生の大先輩として接し、利用者のプライドに配慮した言葉かけや対応をするよう確認し合っている。食事や排泄介助は、目立たず、他者に分からないように、さりげなく行うことに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	優しく訴えを聞き、自己決定出来る様に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ゆとりある対応を心がけ安全を確認しながら、希望に添えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自立者には本人の好みや意向を尊重。介助が必要な方にはその人らしい身だしなみや、おしゃれを支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	多様な食材と手作りによる食事で食べる楽しみを支援。本人の意見を聞きながら各自の出来る力に応じた準備や片付け等を職員と一緒にやっている。	調理や準備、片付けに、利用者に協力してもらっている。利用者の好みに合わせ献立を変えたり、外食や出前を取り入れたり、自家農園で収穫した野菜を調理して楽しむこともある。訪問調査の昼食では、利用者と職員が会話を楽しみながら食べていた。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体調により食事量が変動する為食べられる量を考えたり、刻み等実施し、食べ易い工夫をしている。また、日々の食事量・水分量の記録をし把握出来る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	生活のリズムとして口腔ケアをし、介助が必要な方は付き添いにて実施。自立の方は見守りや声掛けにて促がす。訪問歯科診療や付随する衛生士による口腔ケアも実施。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	全員トイレでの排泄実施。排泄チェック表の活用。表情や仕草、身振りのチェック。穏やかな声掛けにて気持ちよく、自立できるように支援。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、表情やしぐさを見て、トイレに誘導することにより、全員がトイレで排泄をしている。誘導の際は、恥ずかしいという気持ちに配慮して、他者に分からないよう、さりげなく行うことにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜豊富な献立を基に毎食手作りによる食事を提供。水分、食事量共に記録しバランスに注意。散歩や体操の実施。必要な方には医師と相談の上、服薬等の支援。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	入居者の都合や希望を優先し、個々に応じた入浴の支援をしている。	2～3日に1回の入浴が基本だが、希望により毎日入浴できる。アロマ風呂を用意したり、仲の良い利用者同士で入るなど、利用者の好みや体調に配慮している。拒否がある場合は無理強いせず、声かけに工夫している。	

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個人の状況に応じて安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	決められた時間に職員が管理し間違いの起こらないように確認し、服用を支援している。薬の内容は処方箋で確認し、受診時の変更にも注意。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	強制参加にならない様に本人の意見を聞いてレクリエーションや気分転換、役割の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に添っての散歩や買い物外出の支援。地域の行事へも希望を聞き出られるように支援。家族にも協力いただきながらの外出（個人の習い事等）を支援。	散歩や買い物を日課に取り入れ、利用者の希望により出かけている。散歩の途中でおやつを楽しんだり、家族の協力で習い事に行く利用者もいる。訪問調査時は、庭先で体操したり、外出希望の利用者に付添って散歩に出る様子が見受けられた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員と一緒におやつを買いに行き品物を選び一緒に支払いをする等して支援。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価（みずき棟）	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合はそのように支援。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や写真を飾り、気持ちが落ち着くように工夫している。また、毎日の掃除は勿論、月に1度は大掃除を実施している。	共用の空間には、季節の花や緑があり、温度調節にも配慮している。居間には利用者の作品や写真が飾っており、利用者がくつろいでいる様子が見受けられた。また、夜間、外の木の揺れで不安を感じないようにスクリーンを張るなど配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや各階にソファが置いてあり、ゆっくりと座りながら話せる場所を設けている。居室には自由な時間に戻って思い思いに過ごす事が出来る。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族と相談の上、本人がいままで使用されてきた家具等を居室に配置し、違和感無く過ごせるように工夫している。	居室の入口に個人の作品や思い出の物を飾る棚があり、自室がわかりやすいようにしている。各居室にはダンス、ソファ、ベッド等の使い慣れた家具が持ち込まれ、好みの人形や家族の写真等が飾られており、利用者が居室でくつろぐ様子を見受けた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	「出来る事」をなるべくやっていただき、自立した生活が送れるように努めている。各場所が分るように必要な人のために居室に名前を貼ったり、トイレの位置を示している。		

グループホーム 万寿の森

事業所名	社会福祉法人 青葉福祉学院
ユニット名	万寿の森 さくら棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼で話し合い介護の方法を出し合って理念に基づくケアを確認。管理者と職員は社内研修にて理念を確認し実践につなげようと努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加盟し、地域の運動会に参加したり、小学校の児童と交流を持つ。また、消防音楽隊を招き、近隣の小学生や幼稚園児、住民と共に演奏を楽しむ。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事を通じて理解を深めていただけるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設以外の専門家や地域の有識者等の意見を聞き、サービス向上に活かすよう努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長や管理者が行っている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠はご家族の要望で外に出るの危険性を回避する目的で行っている。また、日頃のケアが身体拘束に当たらないか、会議を通じて確認を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	他事業所の新聞報道での出来事を参考に朝礼等で虐待防止について話し合い、常に意識し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を活用した入居者を経験しており、其々の職員が一定の理解をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	その都度管理者が行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族交流会を年2~3回行いご家族の要望や思いを聞くと共に日常的に面会やケアプランの説明を通じて要望を聞き会議でその意見を反映させて頂く。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	普段の仕事の合間や各会議で話し合いの場を設け、皆が話しやすい雰囲気を心掛けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談の実施や意向アンケートを取って活かすように努めている。全体会議等で意見の集約を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修や外部研修の実施、又各会議で話し合い把握に努めている。未資格者にヘルパー2級等の資格習得への援助を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換現場研修を実施して他事業所の良いところを学んでいる。他施設への訪問や研修の依頼をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	その都度本人の意向を聞き、相談を行っている。又家族の声に耳を傾けて本人の気持ちを受け止められるように努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居の際には今までの生活や過去・現在の病気、治療中の事も含め詳しく聞いて介護方針に取り入れる。また、感想や要望を尋ね、ケアに活かすようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず必要としている支援を見極め、対応出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居されている方々が自分からやれる事を大切にして生活を共にしている事を実感してもらっている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	積極的に家族と共に考え、支えあうように努めている。本人と家族で外出する機会をもっていただいたり、棟全員で家族と共に外食したりしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人がこれまで大切にしてきた場所や関係は、家族と相談しながら支援に努めている。お友達が面会に来たり、電話での会話を楽しんでいる。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	支えあって暮らしていく様に、孤立しない様に、共に楽しめる支援をする。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	機会を見てご家族に電話したり、面会に行ったりして支援に努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けを充分にし、傾聴に努める。その上で出来るだけ個々の希望や要望を取り入れ、尊重して行っている。実現できるようにケアプランに盛り込んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人の意見を聞き、これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	食事の仕方、衣類の着脱、入浴の様子を観察したり、毎日の体操・余暇活動等で本人の持っている力を把握している。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的なケアプラン作成時、職員会議を中心に話し合いを通じて個々の入居者のモニタリングを行い計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	「業務日誌」「ケース記録」連絡帳等の記入。また申し送り等から情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	訪問看護、訪問口腔ケア等を取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域ボランティアの受け入れで会話、散歩、演奏会、社交ダンス等、安全で楽しく暮らせる取り組みをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院受診時は止むを得ぬ事情以外は事業所職員が付き添うよう支援。かかりつけ医の受診は家族と職員で協力。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員はいない。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院との連携・関係作りを行い、地域連携会議にも管理者が出席している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会を通じ、又事業所内でも話し合いを段階的に行いながら事業所で出来る事を説明し、方針を共有できるように取り組んでいる。又、地域の関係者と共にチームで支援出来る様に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命法や応急手当の訓練を実施しているがまだ全職員にはいたっていない。今後も継続して実践力を身につけられるように取り組んでゆく。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に（年2回）消防署の協力を得て防災・避難訓練（夜間を想定した訓練もあり）を行い意識を高め、身につけられるよう努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人1人の誇りを傷つけないよう、プライバシーを保てるよう努力している。安心できるような言葉かけを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	生活上の日常更衣で本人の意思に基づいて手伝っていただく。余暇活動も本人の希望で参加。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ゆとりある対応を心がけ安全を確認しながら、希望に添えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自立者には本人の好みや意向を尊重。介助が必要な方にはその人らしい身だしなみや、おしゃれを支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	多様な食材と手作りによる食事で食べる楽しみを支援。本人の意見を聞きながら各自の出来る力に応じた準備や片付け等を職員と一緒にしている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の献立を栄養士に作成してもらいそれに基づき調理。無理なく全量摂取していただくよう工夫。また、日々の食事量・水分量の記録をし把握出来、必要量の確保を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	生活のリズムとして口腔ケアをし、介助が必要な方は付き添いにて実施。自立の方は見守りや声掛けにて促がす。訪問歯科診療や付随する衛生士による口腔ケアも実施。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	全員トイレでの排泄実施。排泄チェック表の活用。表情や仕草、身振りのチェック。穏やかな声掛けにて気持ちよく、自立できるように支援。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜豊富な献立を基に毎食手作りによる食事を提供。水分、食事量共に記録しバランスに注意。散歩や体操の実施。必要な方には医師と相談の上、服薬等の支援。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	本人の入浴したい気持ちを大切にしながら一定間隔で入浴していただく。また、ご家族の意思による入浴介助もいただいている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中での充実した時間を大切にして生活リズムがくずれないよう適度の疲労感の中で入眠がしやすい環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師の処方に基づき服薬管理を徹底し、症状の変化に注意する。受診の際には記録も含めて其々の入居者の様子を医療機関に伝えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	強制参加にならない様に本人の意見を聞いてレクリエーションや気分転換、役割の支援をしている。月1回の外出・外食や季節に応じた行事を企画し、張りのある生活をたのしんで頂く。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族の意思による外出・外食・買い物も盛んに行われている。天気の良い日には施設の中庭に出て散歩を楽しんでいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員と一緒におやつを買いに行き品物を選び一緒に支払いをする等して支援。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合はそのように支援。電話を掛けたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や写真を飾り、気持が落ち着くように工夫している。また、毎日の掃除は勿論、月に1度は大掃除を実施している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや各階にソファが置いてあり、ゆっくりと座りながら話せる場所を設けている。居室には自由な時間に戻って思い思いに過ごす事が出来る。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族と相談の上、本人がいままで使用されてきた家具等を居室に配置し、違和感無く過ごせるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	3階建てで階段はあるが安全の為、必要に応じて柵をして転倒防止に努めたり、手摺の設置やフローアに障害物が無いようにしている。		

グループホーム 万寿の森

事業所名	
ユニット名	ぼたん棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	管理者と職員は社内研修にて理念を確認し実践につなげようと努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域自治会への加入、幼稚園・小学校・中学校との交流。民生委員によるボランティア、地域グループ・個人ボランティアの受け入れ、事業所の行事を地域に発信している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事を通じて理解を深めていただけるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設以外の専門家や地域の有識者等の意見を聞き、サービス向上に活かすよう努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長や管理者が行っている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	正しく理解するように学び合い取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	取り組んでいる。常に意識し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会を持ち、それらを活用できるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	その都度管理者が行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を設け、話し合える環境に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	意見や提案を出来るだけ反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談の実施や意向アンケートを取って活かすように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修や外部研修の実施、又各会議で話し合い把握に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換現場研修の実施。他施設への訪問や研修の依頼をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	その都度本人の意向を聞き、相談を行っている。又家族の声に耳を傾けて本人の気持ちを受け止められるように努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の相談事や困っている事を聞き、上司に意見を聞きながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず必要としている支援を見極め、対応出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者一人ひとりと共に暮らす者同士という気持で関係を築くように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	積極的に家族と共に考え、支えあうように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人がこれまで大切にしてきた場所や関係は、家族と相談しながら支援に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	支えあって暮らしていく様に、孤立しない様に、共に楽しめる支援をする。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者が連絡を取り合っ必要に応じて、相談や支援に努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けを充分にし、傾聴に努める。その上で出来るだけ個々の希望や要望を取り入れ、尊重して行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人の意見を聞き、これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	其々のペースが有り、その日の様子を見ながら無理なく過ごせるように把握に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常の様子を「気づき」に反映させ、会議で話し合い現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	「業務日誌」「ケース記録」「気づき」等の記入。また申し送り等から情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のその時々状況やニーズを良く確認し、実態に合ったサービスが出来る様に努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域ボランティアの受け入れや消防署による訓練等を行い安全で楽しく暮らせる取り組みをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院受診時は止むを得ぬ事情以外は事業所職員が付き添うよう支援。かかりつけ医の受診は家族と職員で協力。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員はいない。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院との連携・関係作りを行い、地域連携会議にも管理者が出席している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会を通じ、又事業所内でも話し合いを段階的に行いながら事業所で出来る事を説明し、方針を共有できるように取り組んでいる。又、地域の関係者と共にチームで支援出来る様に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命法や応急手当の訓練を実施しているがまだ全職員にはいたっていない。今後も継続して実践力を身につけられるように取り組んでゆく。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に（年2回）消防署の協力を得て防災・避難訓練（夜間を想定した訓練もあり）を行い意識を高め、身につけられるよう努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの誇りを傷つけないよう、プライバシーを保てるよう努力している。安心できるような言葉かけを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	優しく訴えを聞き、自己決定出来る様に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ゆとりある対応を心がけ安全を確認しながら、希望に添えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自立者には本人の好みや意向を尊重。介助が必要な方にはその人らしい身だしなみや、おしゃれを支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	多様な食材と手作りによる食事で食べる楽しみを支援。本人の意見を聞きながら各自の出来る力に応じた準備や片付け等を職員と一緒にしている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体調により食事量が変動する為食べられる量を考えたり、刻み等実施し、食べ易い工夫をしている。また、日々の食事量・水分量の記録をし把握出来る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	生活のリズムとして口腔ケアをし、介助が必要な方は付き添いにて実施。自立の方は見守りや声掛けにて促がす。訪問歯科診療や付随する衛生士による口腔ケアも実施。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	全員トイレでの排泄実施。排泄チェック表の活用。表情や仕草、身振りのチェック。穏やかな声掛けにて気持ちよく、自立できるように支援。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜豊富な献立を基に毎食手作りによる食事を提供。水分、食事量共に記録しバランスに注意。散歩や体操の実施。必要な方には医師と相談の上、服薬等の支援。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々に応じた入浴の支援をしている。入浴剤等を利用し入浴を楽しめるようにしている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	体調を考え居室で休んでいたたり、無理のないように支援。個人の状況に応じて安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	決められた時間に職員が管理し間違いの起こらないように確認し、服用を支援している。薬の内容は処方箋で確認し、受診時の変更にも注意。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	強制参加にならない様に本人の意見を聞いてレクリエーションや気分転換、役割の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に添っての散歩や買い物外出の支援。地域の行事へも希望を聞き出られるように支援。家族にも協力いただきながらの外出（個人の習い事等）を支援。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員と一緒におやつを買いに行き品物を選び一緒に支払いをする等して支援。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合はそのように支援。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や写真を飾り、気持が落ち着くように工夫している。また、毎日の掃除は勿論、月に1度は大掃除を実施している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや各階にソファが置いてあり、ゆっくりと座りながら話せる場所を設けている。居室には自由な時間に戻って思い思いに過ごす事が出来る。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族と相談の上、本人がいままで使用されてきた家具等を居室に配置し、違和感無く過ごせるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	「出来る事」をなるべくやっていただき、自立した生活が送れるように努めている。各場所が分るように必要な人のために居室に名前を貼ったり、トイレの位置を示している。		

グループホーム 万寿の森

事業所名	
ユニット名	もみじ棟

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	管理者と職員は社内研修にて理念を確認し実践につなげようと努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域自治会への加入、幼稚園・小学校・中学校との交流。民生委員によるボランティア、地域グループ・個人ボランティアの受け入れ、事業所の行事を地域に発信している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事を通じて理解を深めていただけるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設以外の専門家や地域の有識者等の意見を聞き、サービス向上に活かすよう努めている。職員全般への報告はなされていない。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	施設長や管理者が行っている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	鍵をかける弊害は分っているものの、帰宅願望の強い入居者も居られ、安全確保の為に玄関の施錠は行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	取り組んでいる。常に意識し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会を持ち、それらを活用できるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	その都度管理者が行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を設け、話し合える環境に勤めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議等で意見を聞き、できる事は徐々に反映されつつある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が気持ちよく、向上心を持って働ける環境作りに努められているが、職員数が足りない。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修や外部研修の実施、又各会議で話し合い把握に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換現場研修の実施。他施設への訪問や研修の依頼をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	その都度本人の意向を聞き、相談を行っている。又家族の声に耳を傾けて本人の気持ちを受け止められるように努めている。安心して生活が送れる迄全ての面で配慮し、信頼関係に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の相談事や困っている事を聞き、上司に意見を聞きながら関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まず必要としている支援を見極め、対応出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者一人ひとりと共に暮らす者同士という気持で関係を築くように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	積極的に家族と共に考え、支えあうように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人がこれまで大切にしてきた場所や関係は、家族と相談しながら支援に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	支えあって暮らしていく様に、孤立しない様に、共に楽しめる支援をする。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者が連絡を取り合って必要に応じ、相談や支援に努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声掛けを充分にし、傾聴に努める。その上で出来るだけ個々の希望や要望を取り入れ、尊重して行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報や本人の意見を聞き、これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	其々のペースが有り、その日の様子を見ながら無理なく過ごせるように把握に努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常の様子を「気づき」に反映させ、会議で話し合い現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	「業務日誌」「ケース記録」「気づき」等の記入。また申し送り等から情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族のその時々状況やニーズを良く確認し、実態に合ったサービスが出来る様に努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域ボランティアの受け入れや消防署による訓練等を行い安全で楽しく暮らせる取り組みをしている。ボランティアの活躍が素晴らしく豊かな暮らしを生み出している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力病院受診時は止むを得ぬ事情以外は事業所職員が付き添うよう支援。かかりつけ医の受診は家族と職員で協力。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員はいない。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃から病院との連携・関係作りを行い、地域連携会議にも管理者が出席している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会を通じ、又事業所内でも話し合いを段階的に行いながら事業所で出来る事を説明し、方針を共有できるように取り組んでいる。又、地域の関係者と共にチームで支援出来る様に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命法や応急手当の訓練を実施しているがまだ全職員にはいたっていない。今後も継続して実践力を身につけられるように取り組んでゆく。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に（年2回）消防署の協力を得て防災・避難訓練（夜間を想定した訓練もあり）を行い意識を高め、身につけられるよう努めている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの誇りを傷つけないよう、プライバシーを保てるよう努力している。安心できるような言葉かけを行っている。特に行動を正す時は注意するよう、心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	優しく訴えを聞き、自己決定出来る様に努めている。しかし、強い帰宅願望の訴え時は思いを叶えられない時もある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その方の体調、精神状態を把握・優先して希望に添った支援を行っている。言葉だけでなくその方の真意が汲み取れるような関係を築きたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自立者には本人の好みや意向を尊重。介助が必要な方にはその人らしい身だしなみや、おしゃれを支援している。毎日の生活を少しでも前向きな気持で生きられるよう、支援する。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	多様な食材と手作りによる食事で食べる楽しみを支援。本人の意見を聞きながら各自の出来る力に応じた準備や片付け等を職員と一緒にしている。利用者全員が出来る範囲で参加できるように支援したい。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	体調により食事量が変動する為食べられる量を考えたり、刻み等実施し、食べ易い工夫をしている。また、日々の食事量・水分量の記録をし把握出来る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	生活のリズムとして口腔ケアをし、介助が必要な方は付き添いにて実施。自立の方は見守りや声掛けにて促がす。訪問歯科診療や付随する衛生士による口腔ケアも実施。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	全員トイレでの排泄実施。排泄チェック表の活用。表情や仕草、身振りのチェック。穏やかな声掛けにて気持ちよく、自立できるように支援。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	野菜豊富な献立を基に毎食手作りによる食事を提供。水分、食事量共に記録しバランスに注意。散歩や体操の実施。必要な方には医師と相談の上、服薬等の支援。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	出来るだけ入居者の都合や希望を優先し、個々に応じた入浴の支援をしている。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個人の状況に応じて安心して気持ちよく眠れるように支援している。一人ひとりの生活リズムを尊重している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	決められた時間に職員が管理し間違いの起こらないように確認し、服用を支援している。薬の内容は処方箋で確認し、受診時の変更にも注意し職員間に周知され、理解できている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	強制参加にならない様に本人の意見を聞いてレクリエーションや気分転換、役割の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望に添っての散歩や買い物外出の支援。地域の行事へも希望を聞き出られるように支援。家族にも協力いただきながらの外出（個人の習い事等）を支援。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	職員と一緒におやつを買いに行き品物を選び一緒に支払いをする等して支援。		

グループホーム 万寿の森

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合はそのように支援。棟内に講習電話が設置されており、又携帯電話持参の方も居られ連絡は自由である。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	花や写真を飾ったり、入居者が作成した作品を掲示したりと和やかな雰囲気を作って、気持ちが落ち着くように工夫している。また、毎日の掃除は勿論、月に1度は大掃除を実施している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや各階にソファが置いてあり、ゆっくりと座りながら話せる場所を設けている。居室には自由な時間に戻って思い思いに過ごす事が出来る。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族と相談の上、本人がいままで使用されてきた家具等を居室に配置し、違和感無く過ごせるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	「出来る事」をなるべくやっていただき、自立した生活が送れるように努めている。各場所が分るように必要な人のために居室に名前を貼ったり、トイレの位置を示している。		

目標達成計画

事業所名 万寿の森
 作成日 2022年5月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	家族と事業所全体で直近の情報を共有し緊急を要する身体拘束等を行った際は、家族の同意書の再交付が必要となる。	緊急を要する場合は、身体拘束を行っていき、拘束時肉の処置等に努める。	① 家族の同意書の再交付(済) ② 個別対応(散歩・歩行介助等)の時間を多く取り入れる。	4ヶ月
2	26	介護計画のモニタリングはしていき、職員会議のみで、個人記録はファイル化している。	本人、家族、必要な関係者と話し合い親対面はRPLに介護計画を作成する。	職員会議で原案をもとに話し合い見直しを記録する。又その記録を個人ファイル化する。	3ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。